

平成30年度 科学研究費助成事業－科研費－ 全学説明会

科研費
KAKENHI

研究支援課研究協力係
平成29年8月17日

目次

- ◆平成30年度科研費の要点と主な変更点
- ◆応募手続上の注意事項
- ◆不正使用・不正行為の防止

目次

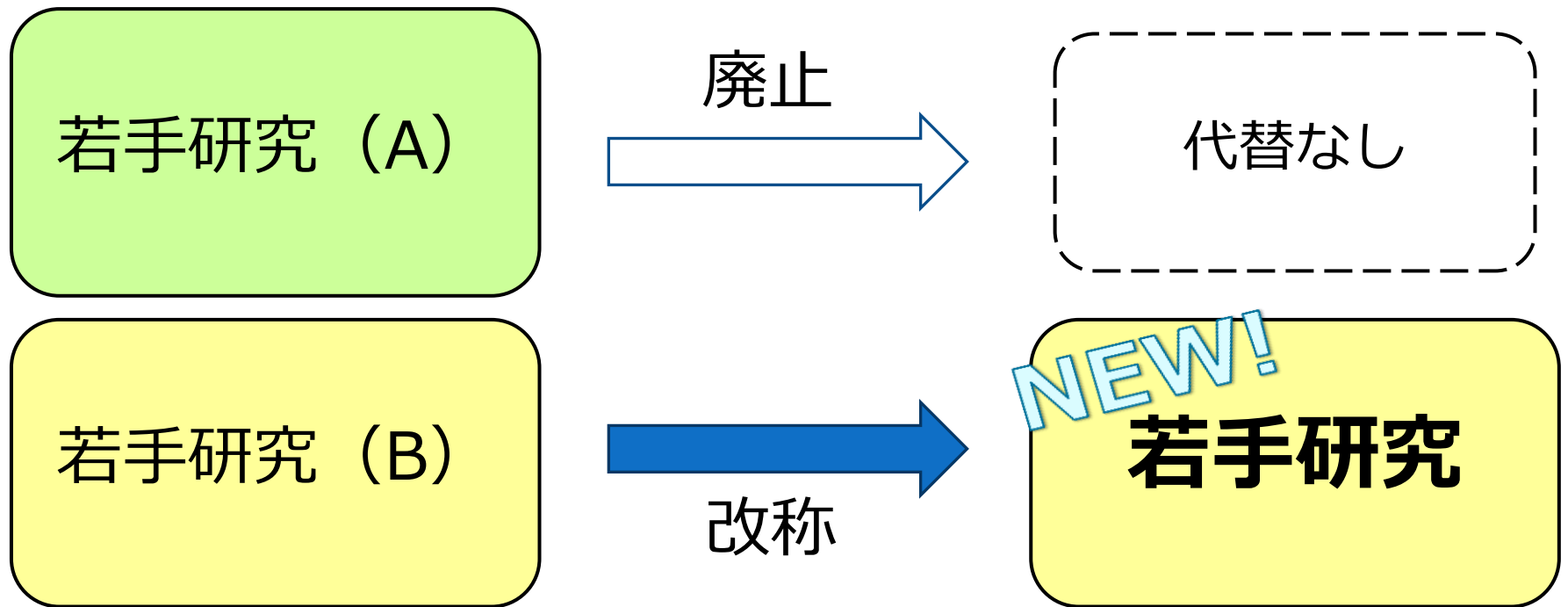
◆平成30年度科研費の要点と主な変更点

◆応募手続上の注意事項

◆不正使用・不正行為の防止

**9月初旬に文科省から正式情報公開見込のため、
大きな変更等がありましたら改めてお知らせします**

「若手研究」の変更(1/2)



- ◆ 若手研究(A)は廃止、若手研究(B)は「若手研究」に改称
- ◆ 応募上限額 = 若手研究(B)並みに (500万円まで)

「若手研究」の変更(2/2)

※平成30年4月1日時点で…

変更前	<u>39歳以下</u> の者（ <u>学位に関係なく可</u> ）
変更後	博士の学位取得後8年未満 の者 ・平成22年4月2日以降に取得した者 ・取得見込みの者や、取得後の産前/産後/育児休業を除くと8年未満になる者も含む
経過措置	博士の学位未取得の39歳以下 の者も可

◆今年は「博士取得日」と「年齢」に注意

◆採択回数制限は続行（人生で2課題まで。リセットなし）

✳参考✳ 研究支援課HP：お知らせ > 科研費「若手研究」種目の応募要件の変更について

<http://www.asahikawa-med.ac.jp/bureau/shomu/kenkyus/index.html>

「研究計画調書」の大幅改訂

◆ 暫定版が日本学術振興会HPで公開中（正式版は9月初旬公開予定）

様式S-1-8 応募内容ファイル（添付ファイル項目）

基盤研究（C）（一般）-1

研究目的

本欄には、研究の全体概要及びその中での本研究の具体的な目的について、要領にその概要を簡潔にまとめて記述し、必要に応じて参考文献を引用しつつ記述し、特に次の点については、重点を置き、具体的な明瞭に記述してください（記述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」（公募要領）を参考にしてください）。

① 研究の学術的意義（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び関連づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ整理した結果、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等）

② 研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか

③ 当該分野における本研究の学術的な特色、独創的な点及び予想される結果と意義

研究目的（概要）※ 当該研究計画の目的について、簡潔にまとめて記述してください。

NEW!

添付ファイル項目

基盤研究（C）（一般）1

1 研究目的、研究方法など

本研究計画書は「小区分」の審査区分で審査されます。記述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」（公募要領）を参考にしてください。

本欄には、本研究の目的と方法などについて、きめ細かく記述してください。

要領にその概要を簡潔にまとめて記述し、本文には、①本研究の学術的意義、研究課題の核心をなす学術的「問い」、②本研究の目的および学術的独自性と創造性、③本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、について具体的な明瞭に記述してください。

※研究計画書の審査とともに行われる場合は、研究計画書、研究分野の具体的な研究計画を記述してください。

（概要）※10行程度で記述してください。

H29
基盤研究(C)

H30
基盤研究(C)

【変更】

- ・ 枠線削除
- ・ ページ割振
- ・ 設問
- ・ 業績発表年自由化など

始める前に
確認を！

✳参考✳ 日本学術振興会：平成30年度科学研究費助成事業の計画調書について
https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/06_jsps_info/g_170807/index.html

(例)ページ割振・設問の変更

7

H29版

内容ファイル（添付ファイル項目）

基盤C（一般）－1

研究目的

本欄には、研究の全体構想及びその中での本研究の具体的な目的について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、適宜文献を引用しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください（記述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」（公募要領8 1 頁参照）を参考にしてください。）。

- ① 研究の学術的背景（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等）
- ② 研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか
- ③ 当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義

研究目的（概要）※ 当該研究計画の目的について、簡潔にまとめて記述して

「目的」と「方法」
2ページずつ

NEW!

H30版



基盤研究（C）（一般）1

1 研究目的、研究方法など

本研究計画調書は「小区分」の審査区分で審査されます。記述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」（公募要領●頁参照）を参考にしてください。

本欄には、本研究の目的と方法などについて、3 頁以内で記述してください。

↓ 新たな設問

冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述し、本文には、(1) 本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす学術的「問い」、(2) 本研究の目的および学術的独自性と創造性、(3) 本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、について具体的かつ明確に記述してください。

本研究を研究分担者とともに行う場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割を記

（概要）※ 10行程度で記述してください。

↑ 行数指定も

「目的&方法」
計3ページ以内

目次

- ◆平成30年度科研費の要点と主な変更点
- ◆**応募手続上の注意事項**
- ◆不正使用・不正行為の防止

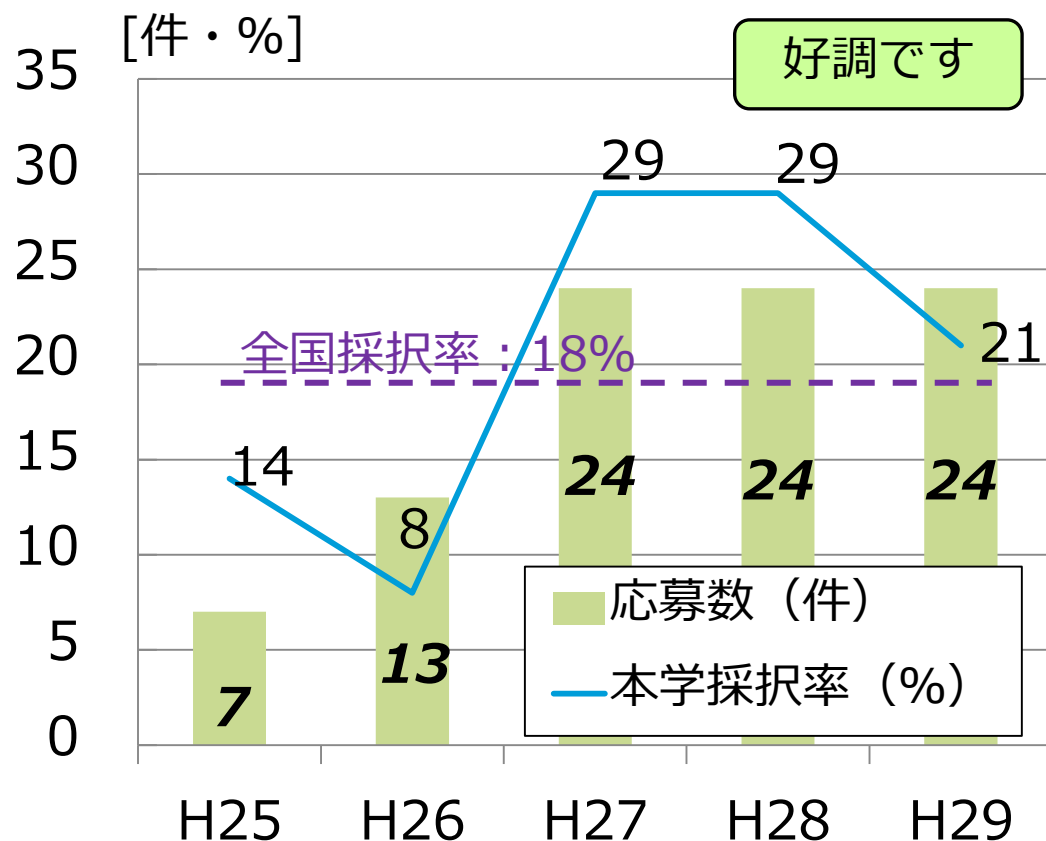
- ①研究活動を行うことを職務に含む者
- ②研究活動に実際に従事していること（研究補助のみの場合は不可）
- ③大学院生等の学生でないこと

◆ 本学の場合…

職名	応募資格
教員	○
医員（大学院生を兼ねても可）	○ ※学内承認が必要 研究支援課HP参照（p.28）
研究生	
その他（①②を満たす者）	
大学院生（職務のない者）	×
その他職員（●●師、●●士、●●員など）	「奨励研究」のみ応募可

「奨励研究」と電子化

応募資格者	技術・事務職員 (基盤研究等の 応募資格がない者)
応募金額	100万円まで
研究期間	1年

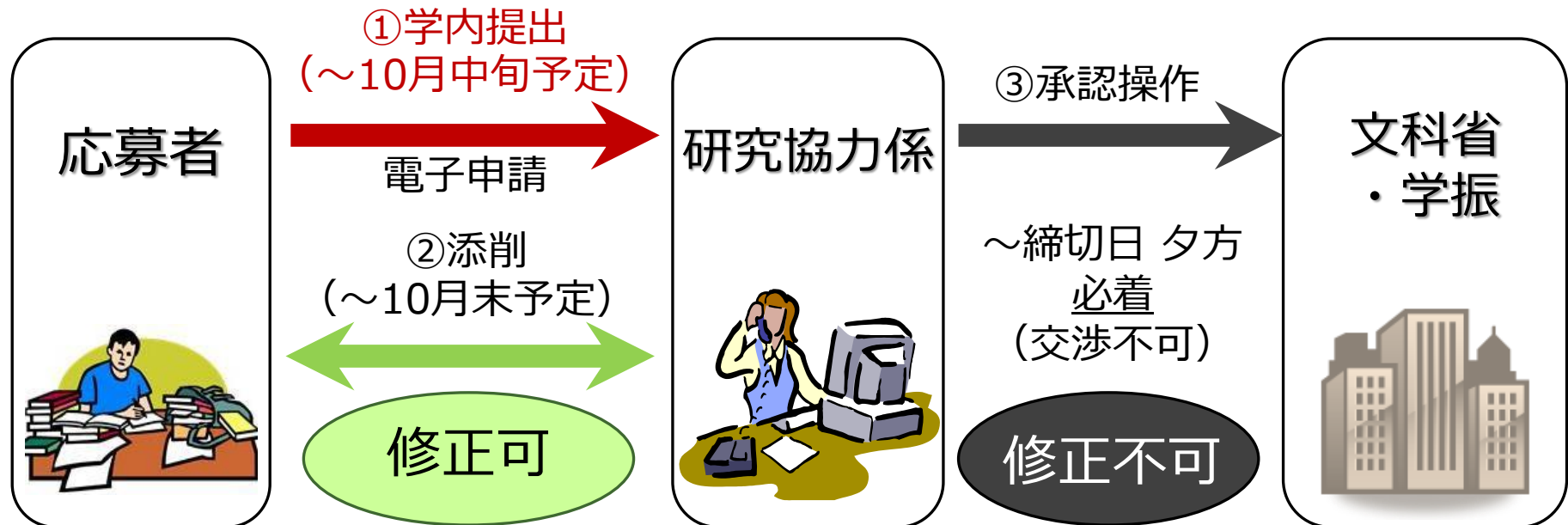


今回より、紙媒体から電子化へ！
(新しい応募方法を後日ご案内します)

応募の流れ

11

- ◆ 「電子申請システム」を使用（p.26参照：紙提出なし）
- ◆ まずは学内提出期限【**10月中旬予定**】の厳守をお願いします
- ◆ 学内提出後も修正できます。ご安心ください【**10月末まで予定**】
（全件、メールで添削結果をお知らせする予定です）
- ◆ 「掛持ち応募」も一部可能です（p.23参照）



電子申請システムの利用準備

12

ログインID・パスワード

- ◆ ID・パスワードは「e-Rad（府省共通研究開発管理システム）」に登録してあるものを使用します（p.26参照）

✳未取得の場合

- ◆ 研究協力係より『申込書 』を入手・提出
（掲載先：研究支援課HP（p.28参照））

※パスワードはメールで届くので、必ずメールアドレスを添えて！

手続き後、システム反映まで30分～1時間かかります

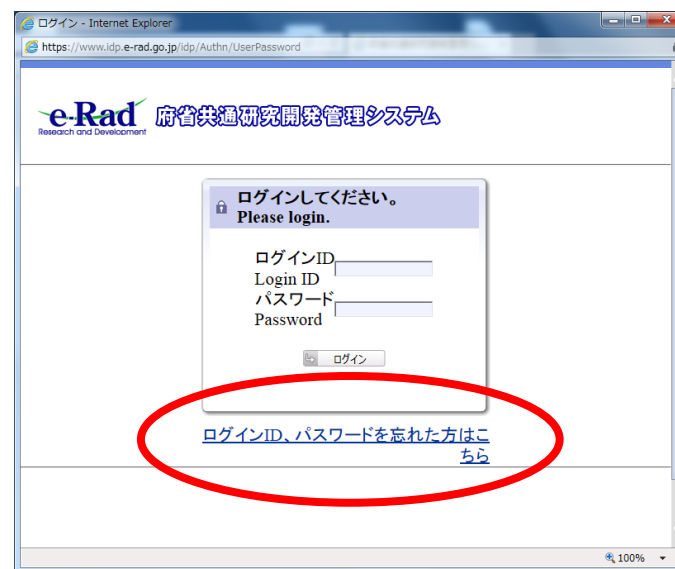
まずはログインして“職名の確認”と“安心”を！

ID・パスワードを忘れてしまったら

13

再取得方法

- ◆ e-Rad (<http://www.e-rad.go.jp/>) ページ右上からログイン
- ◆ ログインページ下の[ログインID、パスワードを忘れた方はこちらへ](#)



解決しなかった場合は研究協力係へどうぞ！

研究計画調書の作成①

14

本日は8/17ですが、正式な様式は9月初旬に公開される予定です

①（先に後半）応募内容ファイルの作成

◆ 応募内容ファイル（Word ）をダウンロードし、記入

②（次に前半）電子申請システムへの入力

◆ 応募種目など、必要事項を画面上で入力

◆ ①のファイル（Word  またはPDF ）の取込操作もあり

取込前に自前でPDF化しておくと、文字化け等が減ります

3MB超、枚数超過・不足のファイルは取り込めません

研究計画調書の作成②

15

審査委員の採点項目は指定＆公開されています

＊参考＊ 日本学術振興会：審査・評価について ～「書面審査の手引」
https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01_seido/03_shinsa/index.html

研究目的



ほとんど「設問のまま」です！

本欄には、研究の全体構想及びその中での本研究の具体的な目的に、
宜文献を引用しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り、具体
研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」（公募要領 8 1 頁

- ① 研究の学術的背景（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び
った経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等）
- ② 研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか
- ③ 当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想さ

設問には必ず回答（可能なら番号順）

⇒「この項目の記載が見当たらない」等の理由で減点されないように

提出完了の確認

16

The screenshot shows the JSPS Research Fee Electronic Application System interface. At the top, the title bar reads 'JSPS 科研費電子申請システム'. Navigation links include 'ヘルプ' (Help) and 'ログアウト' (Logout). The breadcrumb trail is '応募者向けメニュー > 応募情報又は研究計画調書確認完了確認 > 応募情報又は研究計画調書確認完了'. The main heading is '応募情報又は研究計画調書確認完了'. A red dashed box highlights this heading, with a red arrow pointing to it from a green box at the bottom. Below the heading, the text states: '所属研究機関担当者が確認できる状態になりました。' (The status has become one where the designated person at the affiliated research institution can confirm it). It then provides instructions: '応募情報又は研究計画調書を印刷する場合には、以下の[応募情報又は研究計画調書の確認]ボタンをクリックしてPDFファイルをダウンロードしてください。' (When printing the application information or research plan, please click the [Confirmation of application information or research plan] button below to download the PDF file). A button labeled '応募情報又は研究計画調書の確認' is visible. Further instructions state: '応募情報又は研究計画調書を修正・削除したい場合は、所属研究機関担当者に連絡してください。' (If you want to modify or delete the application information or research plan, please contact the designated person at the affiliated research institution.) and 'あなたの応募状況は[処理状況一覧]画面から確認してください。' (You can check your application status from the [List of processing status] screen.). At the bottom, there is an 'OK' button and a 'ログアウト' button. A separate box at the bottom of the screen contains information about JSPS Monthly subscriptions.

JSPS 科研費電子申請システム

ヘルプ ログアウト

応募者向けメニュー > 応募情報又は研究計画調書確認完了確認 > 応募情報又は研究計画調書確認完了

応募情報又は研究計画調書確認完了

所属研究機関担当者が確認できる状態になりました。

応募情報又は研究計画調書を印刷する場合には、以下の[応募情報又は研究計画調書の確認]ボタンをクリックしてPDFファイルをダウンロードしてください。

応募情報又は研究計画調書の確認

応募情報又は研究計画調書を修正・削除したい場合は、所属研究機関担当者に連絡してください。

あなたの応募状況は[処理状況一覧]画面から確認してください。

JSPS Monthly(学振便り)の購読申し込みについて

科研費の公募に関する情報など、日本学術振興会の行う事業に関する最新の情報はJSPS Monthly(学振便り)からも得ることができます。お申し込みは[こちら](#)から。

OK

ログアウト

確実にこの画面まで進めて下さい
(事務局が閲覧できるようになります)

目次

- ◆平成30年度科研費の要点と主な変更点
- ◆応募手続上の注意事項
- ◆不正使用・不正行為の防止

不正行為・不正使用の防止

18

不正を行った「個人」だけでなく
「研究機関（大学全体）」が処分を受けることがあります

研究機関で不正が発生した場合… (p.24-25参照)

- ・ 不正調査のために多大なコストが発生（金銭・時間）
- ・ 組織全体の信用が失墜
- ・ 研究費の返還や、追跡調査など、様々な処分

判断に迷うこと等がありましたら
まずはご相談ください（連絡先：p.19）

研究支援課長

- ◆ 電話 : 0166-68-2189 (内線 : 2189)
- ◆ E-mail : kenkyu-kacho@asahikawa-med.ac.jp

研究協力係

- ◆ 電話 : 0166-68-2187 (内線 : 2187,2241)
(科研費のほか、一般的な相談、相談先が不明な場合もこちらへ！)
- ◆ E-mail : rs-kk.g@asahikawa-med.ac.jp
- ◆ Web : <http://www.asahikawa-med.ac.jp/bureau/shomu/kenkyus/index.html>

✿参考✿ 文部科学省 (研究に関する不正の告発受付窓口)
研究振興局振興企画課競争的資金調整室
電話 : 03-6734-4018 E-mail : chosei-k@mext.go.jp

～ 以下 参考資料 ～

この秋に公募する研究種目

所管	日本学術振興会	文部科学省
公募 種目	特別推進研究	新学術領域研究
	基盤研究 (S・A・B・C)	特別研究促進費
	挑戦的研究 (開拓・萌芽)	
	若手研究	
	奨励研究	
	研究成果公開促進費	

(「研究活動スタート支援」も来年3～5月公募予定)

研究種目の概要・本学採択率

22

種目		参加数	応募金額	研究期間	本学採択率 (H29年度)
新学術領域研究	(公募)	複数	10～1,000万円	2年	50.0%
	(計画)		1,000万～3億円	5年	
基盤研究	(S)	1人 ～複数	5,000万～2億円	5年	-
	(A)		2,000～5,000万円	3～5年	0.0%
	(B)		500～2,000万円		23.1%
	(C)		10～500万円		22.7%
挑戦的研究	(開拓)		500～2,000万円	3～6年	10.0%
	(萌芽)		10～500万円	2～3年	-
若手研究		1人	10～500万円	2～4年	30.2%※1
奨励研究		1人	10～100万円	1年	20.8%

※1：H29「若手研究(B)」としての値

掛持ち応募のご案内

①基盤研究C(一般)・若手研究とも掛持ち可能な種目

- ・新学術領域研究（公募研究）

- * 公募領域は指定（9月に一覧公開）

- ※同時に**2つの領域**まで応募できる（基盤Cと合わせると、合計3課題）

- ※応募金額が基盤C・若手（各500万円）より高いテーマもあり
（2年で200～1,000万円台）

- ・基盤研究B・C（特設分野研究）

- * 公募分野は指定（9月に一覧公開）

②萌芽は基盤C(一般)・若手 以外なら掛持ちOK

③基盤B(一般) & 基盤C(一般) ⇒ NG だが

基盤B(**海外学術調査**) & 基盤C(一般) ⇒ 条件付OK

（条件：全く異なるテーマであること。本学も掛持ち採択例あり）

若手 & 新学術の採択例もあります。該当テーマがあればどうぞ！

不正行為の防止

不正行為とは

- ◆ **特定不正行為**： ①ねつ造 ・ ②改ざん ・ ③盗用
 - ◆ 処罰（資金返還・応募制限・氏名公表・人事処分・刑/民事訴訟）
 - ◆ 科研費等の競争的資金のみならず、運営費交付金等（教員研究費等）による研究も対象
- ◆ **他の不正行為**： 二重投稿、不適切なオーサーシップ等

※参考※ 文部科学省：研究活動における不正行為への対応等
http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/fusei/

不正使用の防止

不正使用とは

- ◆ 架空発注・雇用など（故意）、旅程変更手続忘れなど（過失）
- ◆ 科研費使用ルール、ハンドブック記載内容を参照・遵守

防止に向けて

- ◆ 未使用金が余ってもお咎めなし（次の応募審査には影響しません）
- ◆ 繰越制度が整ってきています（補助金・基金ともに可能）

✿参考✿ 文部科学省：研究機関における公的研究費の管理・監査
http://www.mext.go.jp/a_menu/kansa/08122501.htm

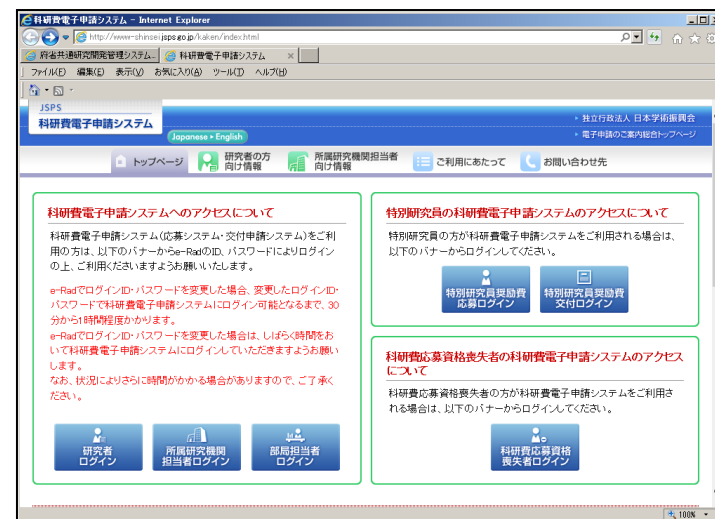
電子申請関連（使い分け）

26

応募操作はこちら

◆ 科研費電子申請システム

<http://www-shinsei.jsps.go.jp/kaken/>



ID・パスワード取得のみ

◆ e-Rad

（府省共通研究開発管理システム）

<http://www.e-rad.go.jp/>



公募要領・研究計画調書（9月初旬掲載見込み）

◆ 日本学術振興会 基盤・萌芽・若手研究など

https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/03_keikaku/download.html

◆ 文科省 新学術領域研究など

http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/boshu/1351544.htm

科研費ハンドブック（2017年度版）

http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/15_hand/

応募・採択・報告書提出までが大まかにまとめられています



研究支援課ホームページ

28

<http://www.asahikawa-med.ac.jp/bureau/shomu/kenkyus/index.html>



旭川医科大学 研究支援課

科研費>公募について

➡ 新着/イベント

➡ 各種公募

➡ 学内公募

➡ 科研費

➡ 産学連携

➡ 知的財産

➡ 生命倫理関係

➡ 国際交流

TOP	公募	交付申請・立替	前倒し・繰越	実績・成果報告	厚生労働科研 AMED研究費
-----	----	---------	--------	---------	-------------------

■ 平成30年度 科学研究費助成事業-科研費-(基盤研究等) 公募情報 → [その他の種目はこちら](#)

平成30年度科研費(特別推進研究・基盤研究・挑戦的研究・若手研究・新学術領域研究・特別研究促進費・研究成果公開促進費)の公募情報を掲載しています。公募要領等の詳細情報については9月以降掲載予定です。

■ 全学説明会

下記のとおり説明会を開催いたします。多数のご来聴をお待ちしております。 ([開催通知PDF版](#))

日 時: 平成29年8月17日(木) 17:30~19:00
会 場: 臨床講義棟 臨床第一講義室 (座席は先着順となります)
内 容: 下記 (当日の配布資料、及び動画を随時掲載予定です)
①公募要領等について(研究支援課研究協力係)
・平成30年度科研費の要点と主な変更点
・応募手続上の注意事項
・研究費の不正使用、研究活動における不正行為の防止

②講演(久留米大学分子生命科学研究所 児島 将康 所長)
『科研費獲得のための申請書作成:来年度の科研費改革への対応を含めて』

9月初旬に公募情報・記入例を掲載予定です